

凡例

日本語の基本的な構文、文法形式（助詞・助動詞類）を含む 50 個の共通例文を要地方言に訳出し、概略的な解説を付す。

「要地方言活用体系記述」が、述語の文法カテゴリーの記述を行うものであるのに対し、「基本例文 50 要地方言訳」は、格やとりたてなどの名詞句の文法形式を含む方言例文を記録することで、活用体系記述を補完することを企図している。読み上げ音声の収録も行っており、検索システムを搭載した用例データベースとして公開している。

本編の記述は、以下に示す「話者情報と解説」および「項目一覧」に掲載した文法形式等を含む共通例文の要地方言訳から成る。共通例文は「例文と項目」に示す。

【話者情報と解説】

項目		備考
話者情報	生年	話者（報告者＝話者の場合、報告者）の生年（西暦）を記載。
	生育地	話者（報告者＝話者の場合、報告者）の生育地（市町村単位、方言区画上の区別が可能な場合は市町村以下の集落単位）を記載。
	性別	話者（報告者＝話者の場合、報告者）の性別を記載。
	補足情報	話者に関する補足情報があれば記載。
解説	概要	当該話者の生育地の方言区画上の位置づけについて説明。方言訳に話者の世代的な特徴が現れている場合もここに記載する。
	表記	「カタカナ音声表記」を基本とし、特殊な表記については説明を付す。
	文法概説	基本例文 50 の方言訳に見られる文法項目に関する簡略な解説。

【項目一覧】

単複 (節タイプ)	単文	平叙文：断定／意志／推量／勧誘／希望／当為 疑問文：真偽疑問／疑問詞疑問／確認要求／同意要求 命令文：命令／依頼／禁止
	複文	テ節／副詞節／名詞修飾節／名詞節／引用節／疑問節
述語タイプ	動詞	断定 (非過去・過去) 命令 禁止 意志 推量 (非過去・過去) 連体 (非過去・過去) 中止：継起／原因・理由／同時進行 仮定：総称的条件 (一般条件) ／予測的条件／事実的条件 譲歩 否定：断定 (非過去・過去) ／連体 (非過去) ／中止／仮定 使役：断定 (過去) 受身：断定 (過去) 直接受身／間接受身 可能：断定 (非過去) 状況可能／能力可能 可能・否定：断定 (非過去) 能力可能／状況可能 継続：断定 (非過去・過去) 進行／結果 希望：断定 (非過去)
	形容詞	断定 (非過去・過去) 推量 (非過去) 連体 (非過去) 中止：原因・理由 仮定：反事実的条件 否定：断定 (非過去) なる 副詞用法
	形容名詞	連体非過去
	名詞述語	断定 (非過去・過去) 推量 (非過去) 連体 (ノ) (非過去) 中止：並列 仮定：予測的条件 否定：断定 (非過去) ／中止【並列】 なる
文法形式	①格形式 ②とりたて形式 ③連体形式 ④並列形式 ⑤補足節形式 ⑥副詞節形式 ⑦モダリティ形式 ⑧その他	
語彙・構文	(一覧表参照)	

【例文と項目】

例文	単複(節タイプ) 《主節の文タイプ》	述語タイプ:活用形 【意味区分】	文法形式(①格形式、②とりたて形式、③連体形式、④並列形式、⑤補足節形式、⑥副詞節形式、⑦モダリティ形式、⑧その他)	語彙・構文
1 今から友達に手紙を書く。	単文《平叙文》	動詞:断定非過去	①起点(カラ)、①相手(ニ)、①対象(ヲ)	
2 筆で手紙を書く人もいる。	複文(名詞修飾節)《平叙文》	動詞:連体非過去 動詞:断定非過去	①手段(デ)、①対象(ヲ)、②累加(モ)	
3 家に帰って、すぐに手紙を書いた。	複文(副詞節)《平叙文》	動詞:中止【継起】 動詞:断定過去	①着点(ニ)、①対象(ヲ)、⑥中止節(テ)	すぐに
4 書いた手紙を何度も読み返す。	複文(名詞修飾節)《平叙文》	動詞:連体過去 動詞:断定非過去	①対象(ヲ)	何度も
5 夜は10時になったら、さっさと寝ろ。	複文(副詞節)《命令文》	名詞:なる 動詞:仮定【予測的条件】 動詞:命令	②主題(ハ)、①着点(ニ)、⑥条件節(タラ)	夜、さっさと
6 危ないから、車道を歩くな。	複文(副詞節)《命令文(禁止)》	形容詞:断定非過去+原因・理由形式 動詞:禁止	①経過域(ヲ)、⑥原因・理由節(カラ)	
7 この本は太郎にやろう。	単文《平叙文(意志)》	動詞:意志	②主題(ハ)、①相手(ニ)	この、やる
8 昼から雨が降るだろう。	単文《平叙文(推量)》	動詞:推量非過去	①起点(カラ)、①主体(ガ)	昼
9 春になれば、花が咲く。	複文(副詞節)《平叙文》	名詞:なる 動詞:仮定【総称的条件(一般条件)】 動詞:断定非過去	①着点(ニ)、①主体(ガ)、⑥条件節(バ)	
10 花子が窓を開けたら、虫が入ってきた。	複文(副詞節)《平叙文》	動詞:仮定【事実的条件】 動詞:断定過去	①他動詞主体(ガ)、①対象(ヲ)、①主体(ガ)、⑥条件節(タラ)	てくる
11 朝はあまりテレビを見ない。	単文《平叙文》	動詞:否定(断定非過去)	①対象(ヲ)、②主題(ハ)	朝、あまり
12 花子はそんな番組なんか見はしない。	単文(名詞修飾句)《平叙文》	動詞:否定(断定非過去・とりたて)	②主題(ハ)、②評価(ナンカ)	そんな
13 花子は昨日テレビを見なかった。	単文《平叙文》	動詞:否定(断定過去)	②主題(ハ)、②対比(ハ)、①対象(ヲ)	昨日

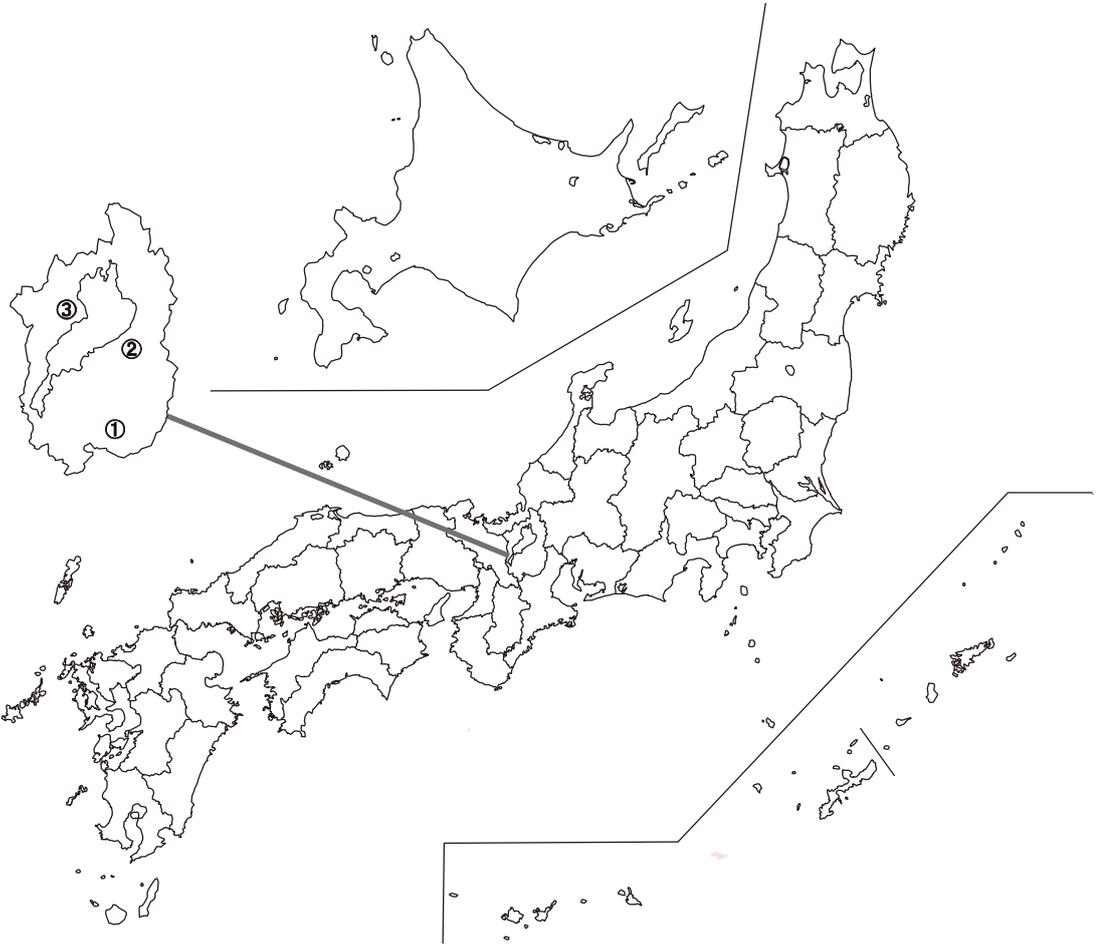
14	花子はテレビを見ないで、本ばかり読んでいる。	複文(副詞節) 《平叙文》	動詞：否定(中止【付帯状況】) 動詞：継続【習慣】(断定非過去)	①対象(ヲ)、②主題(ハ)、②限定(バカリ)、⑥中止節(テ)	
15	テレビを見なければ、この仕事は今日中に終わっただろう。	複文(副詞節) 《平叙文(推量)》	動詞：否定(仮定【反事実的条件】) 動詞：推量過去	①対象(ヲ)、①時点(ニ)、②主題(ハ)	今日
16	熱を出した子どもに薬を飲ませた。	複文(名詞修飾節) 《平叙文》	動詞：連体過去 動詞：使役(断定過去)	①対象(ヲ)、①相手(被使役者：ニ)	
17	お母さんが妹 {を/に} お使いに行かせた。	単文《平叙文》	動詞：使役(断定過去)	①主体(使役者：ガ)、①対象/相手(被使役者：ヲ/ニ)、①目的(ニ)	お母さん、妹
18	弟とけんかして、私だけお父さんにおこられた。	複文(副詞節) 《平叙文》	動詞：中止【原因・理由】 動詞：受身【直接】(断定過去)	①相手(ト)、①相手(受身の動作主：ニ)、②限定(ダケ)	弟、一人称代名詞、お父さん
19	留守中に泥棒に入られた。	単文《平叙文》	動詞：受身【間接】(断定過去)	①時点(ニ)、①相手(受身の動作主：ニ)	
20	この子はまだ小さいけれども、難しい漢字が書ける。	複文(副詞節) 《平叙文》	形容詞：断定非過去＋逆接形式 形容詞：連体非過去 動詞：可能【能力】(断定非過去)	①対象(ガ)、②主題(ハ)、⑥逆接(ケレドモ)	この、まだ
21	今日は時間があるので、ゆっくり手紙が書ける。	複文(副詞節) 《平叙文》	動詞：連体(ノ)非過去＋原因・理由形式 動詞：可能【状況】(断定非過去)	①主体(ガ)、①対象(ガ)、②主題(ハ)、⑥原因・理由節(ノデ)	今日
22	この子はまだ小さいので、平仮名しか書けない。	複文(副詞節) 《平叙文》	形容詞：連体(ノ)非過去＋原因・理由形式 形容詞：連体非過去 動詞：可能・否定【能力】(断定非過去)	②主題(ハ)、②限定(シカ)、⑥原因・理由節(ノデ)	この、まだ
23	机がないので、字がちゃんと書けない。	複文(副詞節) 《平叙文》	動詞：連体(ノ)非過去＋原因・理由形式 動詞：可能・否定【状況】(断定非過去)	①主体(ガ)、①対象(ガ)、②主題(ハ)、⑥原因・理由節(ノデ)	ちゃんと

24	太郎は今、隣の部屋で本を読んでいる。	単文《平叙文》	動詞：継続【進行】(断定非過去)	①場所(デ)、①対象(ヲ)、②主題(ハ)、③連体(ノ)	
25	太郎は花子 {に/から} 借りた本をもう最後まで読んでいる。	複文(名詞修飾節)《平叙文》	動詞：連体過去 動詞：継続【結果】(断定非過去)	①相手(ニ/カラ)、①対象(ヲ)、①終点(マデ)、②主題(ハ)	もう
26	もっと静かなところで寝たい。	複文(名詞節)《平叙文(希望)》	形容名詞：連体非過去 動詞：希望(断定非過去)	①場所(デ)	もっと
27	夕焼けで空が赤い。	単文《平叙文》	形容詞：断定非過去	①起因(デ)、①主体(ガ)	
28	子どもの頃は一人でトイレに行くのがとてもこわかった。	複文(名詞節)《平叙文》	動詞：連体(ノ)非過去 形容詞：断定過去	①手段(デ)、①着点(ニ)、①対象(ガ)、②主題(ハ)、③連体(ノ)、⑤名詞節(ノ)	とても
29	うどんやそばなら安いだろう。	単文《平叙文(推量)》	形容詞：推量非過去	②主題(ナラ)、④並列(ヤ)	
30	古本屋に本を高く買い取ってもらった。	単文《平叙文》	形容詞：副詞用法 動詞：断定過去	①相手(ニ)、①対象(ヲ)	てもら
31	天気が悪くて、誰も来ない。	複文(テ節)《平叙文》	形容詞：中止【原因・理由】 動詞：否定(断定非過去)	①主体(ガ)、⑥中止節(テ)	だれも
32	もっと安ければ、買えたのに。	複文(副詞節)《平叙文》	形容詞：假定【反事実的条件】 動詞：可能【状況】(連体(ノ)過去+逆接形式)	⑥条件節(バ)、⑥逆接(ノニ)	
33	一人で遊びに行っても、楽しくない。	複文(副詞節)《平叙文》	動詞：譲歩 形容詞：否定(断定非過去)	①手段(デ)、①目的(ニ)、⑥逆接(テモ)	
34	天気さえよくなれば、出かけられる。	複文(副詞節)《平叙文》	形容詞：なる 動詞：假定【予測的条件】 動詞：可能【状況】(断定非過去)	②極限(サエ)、⑥条件節(バ)	
35	太郎はまだ中学生だ。	単文《平叙文》	名詞：断定非過去	②主題(ハ)	まだ
36	子どものときは1000円でも大金だった。	単文《平叙文》	名詞：断定過去	②主題(ハ)、②極限(デモ)、③連体(ノ)	

37	これはどろぼうの足跡だろう。	単文《平叙文(推量)》	名詞：推量非過去	②主題(ハ)、③連体(ノ)	これ
38	それは私の傘で、あれは先生の傘だ。	複文(副詞節)《平叙文》	名詞：中止【並列】 名詞：断定非過去	②対比(ハ)、③連体(ノ)	それ、あれ、一人称代名詞
39	もし明日いい天気なら、子どもたちを連れて、どこかへ行こう。	複文(副詞節)《平叙文(意志)》	名詞：仮定【予測的条件】 動詞：中止【同時進行】 動詞：意志【勧誘用法】	①対象(ヲ)、①相手(ト)、①方向(ヘ)、⑧複数(タチ)	明日、たち、どこか
40	この傘と靴は私ののではない。	単文《平叙文》	名詞：否定(断定非過去)	②主題(ハ)、④並列(ト)、⑧名詞代用形式(ノ)	この
41	A：明日もここに来るか？ B：うん、来ようと思っているよ。	A：単文《疑問文(真偽疑問)》 B：複文(引用節)《平叙文》	A：動詞：断定非過去 B：動詞：意志／動詞：継続【結果】(断定非過去)	A：①着点(ニ)、②累加(モ)、⑦疑問(カ) B：⑤引用節(ト)、⑦伝達(ヨ)	A：明日、ここ B：肯定応答詞
42	A：どうして来ないのか？ 来るって言っていたじゃないか。 B：ごめん。ちょっと体調が悪いんだ。	A1：単文《疑問文(疑問詞疑問)》 A2：複文(引用節)《疑問文(確認要求)》 B：単文《平叙文》	A1：動詞：否定(連体(ノ)非過去) A2：動詞：断定非過去／動詞：継続【進行】(断定過去) B：形容詞：連体(ノ)非過去	A1：⑦ノダ、⑦疑問(カ) A2：⑤引用節(ッテ)、⑦ジャンイカ B：①対象(ガ)、⑦ノダ	A：どうして B：ごめん、ちょっと
43	A：あそこにいるのは太郎か？ B：いや、太郎ではなくて、次郎じゃないか？	A：複文(名詞節)《疑問文(真偽疑問)》 B：複文(副詞節)《疑問文(確認要求)》	A：動詞：連体(ノ)非過去／名詞：断定非過去 B：名詞：否定(中止【並列】)／名詞：否定(断定非過去)	A：①場所(ニ)、②主題(ハ)、⑤名詞節(ノ)、⑦疑問(カ) B：⑥副詞節(テ)、⑦ジャンイカ	A：あそこ B：否定応答詞
44	A：どれがあなた(おまえ)の傘か？ B：これがわたし(おれ)の傘だよ。	A：単文《疑問文(疑問詞疑問)》 B：単文《平叙文》	A：名詞：断定非過去 B：名詞：断定非過去	A：①主体(ガ)、③連体(ノ)、⑦疑問(カ) B：①主体(ガ)、③連体(ノ)、⑦伝達(ヨ)	A：どれ、二人称代名詞 B：これ、一人称代名詞

45	A : この本、読む(の)なら貸してやるよ。 B : その本ならもう読んでしまった。	A : 複文(副詞節)《平叙文》 B : 単文《平叙文》	A : 動詞 : 連体(ノ)非過去+ナラ【認識的条件】 B : 動詞 : 断定過去	A : ②主題(無助詞)、⑦伝達(ヨ) B : ②主題(ナラ)	A : この、てやる B : その、もう、てしまう
46	A : 隣の家にどろぼうが入ったんだって。 B : え、そうなの? 隣に入った(の)なら、うちも気をつけなければならないね。	A : 単文《平叙文》 B1 : 単文《疑問文》 B2 : 複文(副詞節)《平叙文(当為)》	A : 動詞 : 連体(ノ)過去 B1 : 名詞 : 連体(ノ)非過去 B2 : 動詞 : 連体(ノ)過去+ナラ【認識的条件】 / 動詞 : 否定(仮定)	A : ①着点(ニ)、①主体(ガ)、⑦ノダ、⑦伝聞(ッテ) B1 : ⑦ノダ B2 : ①着点(ニ)、②累加(モ)、⑦当為(ナケレバナラナイ)、⑦同意要求(ネ)	
47	A : 雨が降りそうだから窓を閉めておいてくれ。 B : もう閉めてあるよ。	A : 単文《命令文(依頼)》 B : 単文《平叙文》	A : 動詞 : 命令 B : 動詞 : 断定非過去	A : ①主体(ガ)、①対象(ヲ)、⑥原因・理由節(カラ)、⑦様態(ソウダ) B : ⑦伝達(ヨ)	A : ておく、てくれる B : てある
48	A : そばを食べに行こうよ。 B : そばよりうどんのほうがいいな。	A : 単文《平叙文(勧誘)》 B : 単文《平叙文》	A : 動詞 : 意志 B : 形容詞 : 断定非過去	A : ①対象(ヲ)、①目的(ニ)、⑦伝達(ヨ) B : ⑧比較(ヨリ)	B : ~のほうがいい
49	A : イロハ書店という本屋がどこにあるか知らない(か)? B : 知っているよ。むしろ看板が見えるだろう?	A : 複文(疑問節)《疑問文(真偽疑問)》 B1 : 単文《平叙文》 B2 : 単文《疑問文(確認要求)》	A : 動詞 : 否定(断定非過去) B1 : 動詞 : 継続【結果】(断定非過去) B2 : 動詞 : 推量非過去	A : ①主体(ガ)、①場所(ニ)、⑤疑問節(カ)、⑦疑問(カ)、⑧連体引用(トイウ) B1 : ⑦伝達(ヨ) B2 : ①場所(ニ)、①対象(ガ)	
50	A : [本荘うどん]って食べたことがある(か)? B : うん、あれって本当においしいよね。	A : 複文(名詞修飾節)《疑問文(真偽疑問)》 B : 単文《疑問文(同意要求)》	A : 動詞 : 連体過去 / 動詞 : 断定非過去 B : 形容詞 : 断定非過去	A : ②主題(ッテ)、⑦疑問(カ) B : ②主題(ッテ)、⑦同意要求(ヨネ)	A : したことがある B : 肯定応答詞、あれ ※ [] 内は当該地域の名物料理。

要地方言位置図(基本例文 50 要地方言訳)



- ①滋賀県甲賀市方言
- ②滋賀県彦根市方言
- ③滋賀県高島市方言